

[参考資料・リリース日本語訳]

報道関係各位

2003年1月27日

ノバルティス 2002 年度業績 堅調な業務パフォーマンスで 2 桁成長を達成

- バーゼル発、2003年1月23日 -

- グループ全体の売り上げは、医薬品とジェネリックビジネスの堅調な販売量の増加に牽引され、現地通貨ベースで 11% 増 (スイスフランベースで 2% 増) を達成。
- 医薬品では、循環器とオンコロジーのフランチャイズが牽引力となり、2002 年を通じてすべての主要マーケットにおいて、引き続き業界平均を大きく上回る成長を遂げ、売り上げは現地通貨ベースで 13% 増 (スイスフランベースで 4% 増)。
- ジェネリックは、販売地域の拡大と新製品上市の成功によって、ダイナミックな成長を達成 (現地通貨ベースで 25% 増)。
- 卓越した売り上げの伸びと生産性の向上に支えられ、グループ全体の営業利益は 8% 増。
- 堅調な業務パフォーマンスと、困難なマーケット状況下にあったにもかかわらず、金融収益が非常に満足できる水準であったことにより、純利益は 4% 増。
- 一株当たり利益は、高い収益と発行済み株式数の減少 (株式買い戻しプログラムによる) で 7% 増。
- フリーキャッシュフローは配当金支払い後で 10% 増。
- 2003 年度第 1 四半期から、米ドル建てでのレポートに変更の予定。

主要連結財務データ

2002 年度年間

	2002 年			2001 年			前年比	
	百万 スイスフラン	億円	対売上%	百万 スイスフラン	億円	対売上%	スイスフラン ベース	現地通貨 ベース
グループ全体の売上	32 412	27 550		31 643	26 897		2	11
営業利益	7 887	6 704	24.3	7 277	6 185	23.0	8	10
純利益	7 313	6 216	22.6	7 024	5 970	22.2	4	
1 株当たり利益 (スイスフラン・円)	2.91	247		2.73	232		7	
社員数 (人)	72 877			71 116			2	

換算レート：2002 年 1 スイスフラン = 85 円、2001 年 1 スイスフラン = 85 円

本リリースで用いられている日本円表示の金額は、すべて便宜的に 2002 年、2001 年ともに 85 円の為替レートでスイスフランを日本円に換算したものである。これらの換算金額は、こ

のレートまたはその他のレートでスイスフランの額を実際に日本円に換えられる額を示すものと解してはならない。

2002 年度第 4 四半期 (10 ~ 12 月)

	2002 年			2001 年			前年比	
	百万 スイスフラン	億円	対売上%	百万 スイスフラン	億円	対売上%	スイスフラン ベース	現地通貨 ベース
グループ全体の売上	8 165	6 940		8 259	7 020		-1	9
営業利益	1 968	1 673	24.0	1 924	1 635	23.3	2	4
純利益	1 710	1 454	20.9	1 612	1 370	19.5	6	
1 株当たり利益 (スイスフラン 円)	0.69	59		0.63	54		10	

バーゼル発、2003 年 1 月 23 日

ノバルティスの会長兼最高経営責任者のダニエル・バセラは 2002 年度のグループ全体の業績について、次のように述べています。「私たちは、ノバルティス設立以来、6 年連続して記録的な業績を達成できたことについてご報告できることを非常にうれしく思います。2002 年、不安定で移り変わりの速い経済状況下にもかかわらず、私たちのほとんどすべてのビジネスがマーケットの伸びを上回り、マーケットシェアを拡大しました。ビジネスへ集中する戦略を継続して実行したことが、堅調な売り上げと業務パフォーマンスを生み出しました。私たちの中核ビジネスである医薬品において、特に循環器領域とオンコロジー領域でリーダーシップをより強固なものとししました。過敏性腸症候群の画期的な治療薬「ゼルノーム」や非ステロイド性の湿疹治療薬「エリデール」などを含む、いくつかの革新的な製品が上市されました。さらに、「ディオバン」「ゾメタ」、そして、患者さんとそのご家族に新たな希望をもたらした、革新的な抗がん剤「グリベック」が新たな適応を獲得しました。また、私たちの成長を支える医薬品の創製に向けた投資として、米国マサチューセッツ州ケンブリッジにノバルティス 바이오メディカルリサーチセンターを設立しました。

グループ全体の売り上げは 11% 増の 324 億スイスフラン

グループ全体の売り上げは、特に医薬品とジェネリックビジネスにおける販売量の堅調な増加に牽引され、現地通貨ベースで 11% 増（スイスフランベースで 2% 増）となりました。売り上げ増の 10% には販売量の増加が貢献し、1% は価格上昇によるものです。これは、スイスフラン高による 9% の為替のマイナス影響を相殺する以上のものですが、スイスフラン高はスイスフランベースによる売り上げ増を 2% に圧縮しています。米ドルベースでは、グループ全体の売り上げは 11% 増の 209 億ドルを達成しました。これは主に、医薬品の 13% 増とジェネリックの 25% 増（ともに現地通貨ベース）の貢献によるものです。

営業利益は 8% 増の 79 億スイスフラン

生産性の向上と製品ミックスの改善によって、売上原価が減少しました。また、一般管理費においても削減を達成することができました。一方、研究開発費と、売り上げの増加に伴って新製品の上市を促進するための販売費が共に増加しました。結果として、営業利益はスイスフランベースで 8% 増で 79 億スイスフランを達成し、営業利益率は実質的に 1.3% 増の 24.3% に達しました。

純利益は4%増の73億スイフラン

困難な金融状況であったにもかかわらず、純金融収益が魅力的な水準を達成したことに加え（9億4,900万スイフラン）、年間の純利益はスイスフランベースで4%増の73億スイフランを達成しました。

2002年の好業績に基づいて、1株当たりの配当金は6%増の0.95スイフランが年次株主総会で提案されます。

2003年度の見通し（予想しがたい要因を除く）

ノバルティスは、引き続きビジネスの中核となる医薬品と主要な治療領域にフォーカスすることによって、2003年もダイナミックな成長の継続を見込んでいます。高水準の成長維持を追求するために、積極的な投資戦略を実行していきます。2003年には、医薬品の研究への投資を20%以上増加することが計画されていて、この比率は売り上げの伸びを上回るものです。したがって2003年には、医薬品の営業利益率は減少することが見込まれています。

研究への投資の増大と、チャレンジングな経済環境により金融収益レベルの低下が予想されるにもかかわらず、予想しがたい要因を除けば、営業利益と純利益はともに前年レベルを上回ると見込まれています。

昨年発表しましたとおり、ノバルティスグループは2003年第1四半期の業績発表から米ドル建てでレポートする予定です。これは、ノバルティスのビジネスにおける米国の戦略的重要性の高まりを反映するものです。

部門およびビジネスユニット別売り上げ

2002年度年間

	2002年		2001年		増減	
	百万 スイフラン	億円	百万 スイフラン	億円	スイフラン へース (%)	現地通貨 へース (%)
医薬品	21 002	17 852	20 181	17 154	4	13
コンシューマーヘルス	11 410	9 699	11 462	9 743	0	7
ジェネリック	2 809	2 388	2 433	2 068	15	25
OTC	2 359	2 005	2 538 ¹	2 157	-7	-1
アニマルヘルス	971	825	962	818	1	10
医療用栄養食品 ²	1 109	943	1 115 ¹	948	-1	4
乳幼児用栄養食品	2 075	1 764	2 227 ¹	1 893	-7	3
チバビジョン	1 762	1 498	1 787	1 519	-1	6
コンシューマーヘルス(継続)	11 085	9 422	11 062	9 403	0	6
健康機能性食品(分離)	325	276	400	340		
合計	32 412	27 550	31 643	26 897	2	11

2002 年度第 4 四半期 (10 ~ 12 月)

	2002 年		2001 年		増減	
	百万 スイフラン	億円	百万 スイフラン	億円	スイフラン へース (%)	現地通貨 へース (%)
医薬品	5 323	4 525	5 285	4 492	1	11
コンシューマーヘルス	2 842	2 416	2 974	2 528	-4	4
ジェネリック	789	671	676	575	17	26
OTC	606	515	672 ¹	571	-10	-3
アニマルヘルス	225	191	247	210	-9	2
医療用栄養食品 ²	263	224	275 ¹	234	-5	1
乳幼児用栄養食品	484	411	585 ¹	497	-17	-5
チバビジョン	422	359	421	358	0	9
コンシューマーヘルス (継 続)	2 789	2 371	2 876	2 445	-3	4
健康機能性食品 (分離)	53	45	98	83		
合計	8 165	6 940	8 259	7 020	-1	9

1. 小売業者に対する一部の売上インセンティブと値引きの区分変更により、計算し直した。2001 年において OTC、医療用栄養食品、乳幼児用栄養食品の売り上げは、それぞれ 1 億 2,900 万スイフラン、5,000 万スイフラン、2 億 1,600 万スイフラン減少しており、これに連動して販売費も減少している。
2. ニュートリション & サンテを含む。

部門およびビジネスユニット別営業利益

2002 年度年間

	2002 年			2001 年			増減
	百万 スイフラン	億円	対売 上%	百万 スイフラン	億円	対売 上%	現地通貨 へース (%)
医薬品	6 022	5 119	28.7	5 677	4 825	28.1	6
コンシューマーヘルス	1 684	1 431	14.8	1 513	1 286	13.2	11
ジェネリック	406	345	14.5	281	239	11.5	44
OTC	374	318	15.9	452	384	17.8	-17
アニマルヘルス	144	122	14.8	138	117	14.3	4
医療用栄養食品 ¹	6	5	0.5	87	74	7.8	-93
乳幼児用栄養食品	355	302	17.1	388	330	17.4	-9
チバビジョン	183	156	10.4	174	148	9.7	5
コンシューマーヘルス (継 続)	1 468	1 248	13.2	1 520	1 292	13.7	-3
健康機能性食品 (分離)	216	184		-7	-6		
コーポレート	181	154		87	74		108
合計	7 887	6 704	24.3	7 277	6 185	23.0	8

2002年度第4四半期(10~12月)

	2002年			2001年			増減
	百万 スイスフラン	億円	対売 上%	百万 スイスフラン	億円	対売 上%	現地通貨 ベース(%)
医薬品	1 505	1 279	28.3	1 546	1 314	29.3	-3
コンシューマーヘルス	499	424	17.6	428	364	14.4	17
ジェネリック	113	96	14.3	72	61	10.7	57
OTC	119	101	19.6	174	148	25.9	-32
アニマルヘルス	21	18	9.3	42	36	17.0	-50
医療用栄養食品 ¹	-27	23		15	13	5.4	
乳幼児用栄養食品	64	54	13.2	101	86	17.3	-37
チバビジョン	27	23	6.4	18	15	4.3	50
コンシューマーヘルス(継 続)	317	269	11.4	422	359	14.7	-25
健康機能性食品(分離)	182	155		6	5		
コーポレート	-36	-31		-50	-43		-28
合計	1 968	1 673	24.1	1 924	1 635	23.3	2

1.ニュートリション&サンテを含む。

セクター別業績

医薬品

売り上げ

2002年、中核である医薬品ビジネスは年間を通じて二桁成長を記録し、トータルのマーケットシェアを拡大しました。全体として売り上げは、通年で現地通貨ベースで13%増(スイスフランベースで4%増)で210億スイスフラン、第4四半期で現地通貨ベースで11%増(スイスフランベースで1%増)を達成しました。ダイナミックな勢いで成長を続ける循環器とオンコロジーのビジネスの主力製品である、「ディオバン」「ロトレル」「レスコール/ローコール」「グリベック」「ゾメタ」「サンドスタチン」が好業績を牽引しました。

「エリデル」と「ゼルノーム/ゼルマック」の上市、「ロトレル」の用量の追加、「ゾメタ」「ディオバン」「ピスダイン」「グリベック」の適応追加、そして「レスコール/ローコール」の処方拡大などのすべてが、売り上げ増に貢献しました。ノバルティスは米国、EU、そして日本において11の承認取得と18の申請を行い、主要マーケットにおいて再び医薬品業界で最多の承認を取得した企業の一つとなりました。

主力マーケットである米国における売り上げは12%増となり、また、他のすべての主要地域でも、二桁の売り上げの伸びを達成しました。特に、ラテンアメリカ地域(17%増)と、薬価改定があつたにもかかわらず15%増の成長を遂げた日本の好調が成長に貢献しました。ヨーロッパでは、スペインとフランスにおける堅調な販売量の増加が、数カ国における価格抑制の影響やドイツでの強制的なジェネリック製品への置き換え、ドイツと英国における並行輸入などの影響を相殺しました。

営業利益

医薬品の営業利益は6%増の60億スイスフランを達成しました。売上原価は、製品ミックスの改善と生産性向上で、対売り上げ比が1.2%改善しました。販売費については、米国における「エリデル」と「ゼルノーム」の上市推進のために、対売り

上げ比が増加しました。将来の革新的な研究を強化するための、新しい研究戦略の実施と新たなケンブリッジの研究施設の設立により、研究開発への投資は4%増加しましたが、対売り上げ比は17%を維持しました。

ハイライト

プライマリーケア

2002年、高血圧症治療薬「**ディオバン**」(49%増、米国：40%増)は、ノバルティスのトップの売り上げを誇る製品となりました。11月末には米国で、トータル処方方の35.5%以上を獲得し、アンジオテンシン受容体ブロッカー(ARB)のカテゴリーにおけるリーディングポジションをさらに強固なものとししました。米国では、上半期に卸在庫が増加しましたが、第4四半期には通常レベルに戻りました。これは、四半期ごとの売り上げに影響しています。しかしながら、トータル処方数では通年で継続的に40%を超える成長を続け、「ディオバン」に対する需要が着実に高まっていることを顕著に示しました。Val-HeFT (Valsartan Heart Failure Trial)の成績に基づいて、「ディオバン」はACE阻害剤での治療が不十分な心不全患者を対象に、心不全治療薬としてFDAによって承認された初めての、そして唯一のARBとなりました。ノバルティスファーマはヨーロッパおよび他のマーケットにおいても、米国と同様の承認取得を目指しています。5月には米国で「**コディオバン**」の高用量製剤(160/25)が上市され、患者および医師にフレキシブルでより幅広い治療の選択を提供することが可能になりました。

高コレステロール血症治療薬「**レスコール/ローコール**」(18%増、米国：13%増)の売り上げは、特にその優れた安全性と有効性のプロフィールと、XL錠(徐放性製剤)の簡便性が支持され、ヨーロッパでダイナミックに伸び、他の地域でも堅調に推移しました。米国での売り上げは第4四半期に引き続き成長しましたが、「**バイコール**」の販売中止により「レスコール/ローコール」への切り替えがあった2001年同期に比べると、その勢いが鈍りました。また、血管形成術後患者における心血管イベントのリスクを「レスコール/ローコール」が減少するという試験成績が発表され、8月には米国で、この二次予防に対する適応追加が申請されました。

抗真菌薬「**ラミシール**」(4%増、米国：3%減)は主に米国において、昨年末に近づくにつれてその売り上げを伸ばしました。米国の真菌症市場が縮小する一方で、「ラミシール」はトータル処方および新規処方の両方でそのシェアを拡大し、経口の抗真菌薬セグメントで80%以上のシェアを獲得しました。

湿疹治療薬「**エリデール**」は米国を含む13カ国で発売され、ヨーロッパではすでに相互認証方式が完了しています。売り上げは1億4,800万スイフランに達しました。この効果の高い非ステロイド性クリームは、わずか6ヵ月で米国で湿疹治療薬としてNo.1ブランドとなり、新規処方の8.6%を獲得しました。ヨーロッパでの最初の発売国であるデンマークでは、発売後10週間でそのカテゴリーにおける売り上げシェアの9%を獲得しました。

便秘型の過敏性腸症候群治療薬「**ゼルノーム/ゼлмаック**」は、現在すでに28カ国で販売され、売り上げは7,000万スイフランに達しました。米国では上市後わずか3ヵ月であるため、医師たちのゼルノームに対する認識はまだ低く、患者が処方に適するかどうかの診断については保守的です。ノバルティスは「ゼルノーム」に対する認知度を高め、診断をサポートするためのさまざまなプログラムを開始しました。

オンコロジー

ノバルティスのオンコロジービジネスはさらにマーケットシェアを拡大し、現地通貨ベースで 28% 増（スイスフランベースで 19% 増）の大幅な売り上げ成長を記録しました。ノバルティスは全世界のオンコロジー企業の中で、最速の成長を遂げている企業の一つです。

慢性骨髄性白血病（CML）と消化管間質腫瘍（GIST）の治療薬「**グリベック**」（303% 増、米国：103% 増）は、世界 80 カ国以上で非常に多くの患者さんにベネフィットをもたらしました。予想を大きく上回り、12 カ月の売り上げは 9 億 5,300 万スイフランに到達し、ノバルティスで第 5 位の製品となりました。「グリベック」は米国、EU、スイスで、CML の初発患者に対する第一選択薬として承認され、英国、オーストラリア、ニュージーランドで保険払い戻しプロセスに大きな進展がありました。

悪性腫瘍骨転移に伴う骨合併症の治療薬「**ゾメタ**」は、7 億 5,800 万スイフランの売り上げを達成し、悪性腫瘍の骨転移治療のために最も多く処方されるビスフォスフォネート注射剤となりました。「アレディア」より効果が高く、簡便である「ゾメタ」は、幅広い悪性腫瘍を対象としてヨーロッパおよび米国で承認されています。

末端肥大症およびカルチノイド症候群の治療薬「**サンドスタチン**」の売り上げは、23% 増（米国 39% 増）で 9 億 4,300 万スイフランとなり、二桁成長を達成しました。より簡便で、1 カ月 1 回投与の徐放性製剤 LAR のマーケットへの浸透の継続的な成功が、この成長を牽引しました。

ホルモン過敏性の閉経後進行性乳がん治療の第一選択薬「**フェマール**」の売り上げは、37% 増（米国：55% 増）で 2 億 7,100 万スイフランに到達しました。

眼科

眼科ビジネスは「**ビスダイン**」の好調に牽引され、売り上げが現地通貨ベースで 7% 増（スイスフランベースで 1% 減）となりました。卸在庫の減少が売り上げに影響したものの、他の眼科領域ブランドに対する需要も増大しています。

加齢黄斑変性の治療薬「**ビスダイン**」（27% 増、米国：19% 増）は、引き続きすべての地域で売り上げを伸ばし、4 億 4,300 万スイフランを達成しました。「ビスダイン」による治療は、その主要な適応が現在 65 カ国以上で承認され、EU、米国、カナダを含む 45 カ国以上で追加の適応症が承認されています。8 月には、オカルト型加齢黄斑変性への適応が EU で承認され、また 10 月には、4 年にわたる試験のポジティブな結果が発表され、「ビスダイン」による治療の長期にわたるベネフィットがより明らかになりました。

移植・免疫

ジェネリックや他のブランドの競合品による「**ネオーラル**」への攻勢が、引き続き限定されたため、年間売り上げは現地通貨ベースで 4% 減（スイスフランベースで 11% 減）にとどまりました。「ネオーラル」は、その用量が厳しくコントロールされた医薬品であり、多くの医師が、「ネオーラル」での治療が順調で状態が安定している患者において、薬剤の切り替えによって薬剤の血中濃度が不安定になることを避けることを重要と考えているためです。

免疫抑制剤治療の標準薬である「ネオール / サンディミュン」の売り上げ（5%減、米国 12%減）は、日本におけるマーケットシェアの拡大に支えられ、他の地域における薬価抑制や他のブランドの競合品およびジェネリックの攻勢によるマイナス影響を部分的に相殺しました。米国において、「ネオール / サンディミュン」の総売上における「サンディミュン」の売り上げはおよそ 25%で、第 3 四半期にはジェネリックとの厳しい戦いを強いられました。それでもジェネリック参入後 31 ヶ月時点で、米国のシクロスポリンフランチャイズに対するジェネリックの浸食は 33%と、業界水準にとどまりました。

「ネオール」を補完し、その臨床効果を最適化する目的で開発された「シムレクト」は、日本での上市の成功と大部分の国や地域で、すでにその市場での地位を確立していた競合製品から、引き続きシェアを奪取したことによって、21%増（米国：4%増）の売り上げ増を記録しました。

パイプライン・アップデート

関節炎と疼痛の治療薬「Prexige」は、ノバルティスで開発中の選択的 COX-2 阻害剤です。11月に米国と EU で、長期使用として 1日 200mg、短期使用として 1日 400mg の用量で承認申請されました。高用量での長期使用の安全性と忍容性に関するデータの取得に向けた臨床試験 TARGET が実施されています。最終結果は 2004 年半ばに得られる予定です。関節リウマチの適応症については、米国での承認取得に不可欠な別のピボタル試験が、すでにスタートしています。

新規のぜん息治療薬「ソレア」（ノバルティス、ジェネンテック社およびタノックス社の 3 社で共同開発中）は、承認取得のための追加データを 12月に米国に提出しました。

気管支ぜん息患者のための新世代の吸入システム「Foradil Certihaler」は、米国と EU で 12月に承認申請が行われました。

糖尿病治療薬「スターリクス」は、一般的に使用されている経口糖尿病治療薬「rosiglitazone」との併用についての承認申請を 12月に米国で行いました。

心臓および腎臓移植の慢性拒絶反応の主要因をターゲットとして開発された、新規医薬品の「サーティカン」は 7月には EU、12月には米国で承認申請されました。

パーキンソン病治療薬「コムタン」は、レボドパおよびカルビドパとの合剤として、8月に米国で承認申請されました。

「Zoledronic acid（関節リウマチ）」、「RAD001（関節リウマチ）」、「SMC021（骨粗しょう症治療薬「ミアカルシック」の経口剤）」のフェーズ 臨床試験がスタートしています。また、最初のリンパ球ホーミング作用物質で、移植時の急性拒絶反応を抑制する「FTY720A」のフェーズ 臨床試験が、2003年の上半期に開始される予定です。オンコロジー領域では、「ICL670（慢性鉄過剰症）」と「PTK787（結腸がん）」がともにフェーズ 臨床試験に移行し、また、「PKC412」の急性骨髄性白血病の移行期の患者を対象としたパイロット試験において、最初のポジティブな臨床結果が報告されました。

ノバルティスは、チタン・ファーマシューティカルズと共同で行っている「loperidone（統合失調症）」の開発の継続について、第三者へのサブライセンスの可能性も含めて検討中です。

糖尿病治療薬としての可能性を検討中の「**LBL752**」が、ライセンサーの Dr. Reddy's Laboratories に返還され、一方で、共同研究活動の一環として、ポテンシャルのあるバックアップ化合物が評価されています。

コンシューマーヘルス部門

ジェネリック

ジェネリックの売り上げはダイナミックな成長を遂げ、現地通貨ベースで 25% 増（スイスフランベースで 15% 増）で 28 億スイフランを記録しました。価格は 1% 下がりましたが、販売量が大幅に増加したことが、成長の牽引力となりました。買収したビジネスが、売り上げ増のおよそ 2% に加わりました。全体的な好業績は、米国とヨーロッパによって率いられ、新製品の上市と新規マーケットへの参入が貢献しました。

OTC

OTC 薬の売り上げは 24 億スイフランで、現地通貨ベースで前年レベルを 1% 下回りました（スイスフランベースで 7% 減）。

アニマルヘルス

アニマルヘルスの売り上げは、現地通貨ベースで 10% 増（スイスフランベースで 1% 増）で 9 億 7,000 万スイフランとなりました。これは、1 月に買収したワクチン事業の貢献により、ラテンアメリカ地域と米国において二桁成長を達成したことによるものです。全体的には、売上増のおよそ 6% に買収が寄与しています。

コンパニオンアニマルビジネスは、糸状虫駆除薬「インターセプター」とイヌの心臓病および腎臓病の治療薬「フォルテコール」の売り上げの好調と、主要マーケットでの多くの新製品の発売により、好業績を達成しました。製品ラインアップは、ネコおよびイヌの消化器管内寄生虫駆除薬「ミルベマックス」、新規の治療領域に参入したイヌのアトピー性皮膚炎治療薬「アトピカ」やイヌの鎮痛薬「デラマックス」によって、より強固なものとなりました。

畜産動物用ビジネスの売り上げは、ラテンアメリカ地域と 2001 年の口蹄疫から回復した英国での好業績によって、ダイナミックな成長を達成しました。オーストラリアでは、長引く干ばつで家畜の数が減り、地域ビジネスへの影響は 2002 年を超えても続くと考えられます。

米国のグランドラボとイムテックの買収は、ワクチン事業と水産薬のビジネスを押し上げ、売り上げは大幅な伸びを記録し、部門全体の売り上げの 8% に貢献しました。

医療用栄養食品（ニュートリション & サンテを含む）

医療用栄養食品およびニュートリション & サンテの売り上げは、現地通貨ベースで 4% 増（スイスフランベースで 1% 減）で 11 億スイフランとなりました。

乳幼児用栄養食品

乳幼児用栄養食品の売り上げの成長は業界平均を上回り、現地通貨ベースで 3% 増（スイスフランベースで 7% 減）で 21 億スイフランとなりました。ガーバーが主な牽引力となり、米国でのマーケットシェアを 2001 年に比べて 3% 拡大しました。

チバビジョン

チバビジョンの売り上げは、現地通貨ベースで6%増（スイスフランベースで1%減）の18億スイスフランとなりました。これは、使い捨てコンタクトレンズ事業における販売量の増大がマーケットの伸びを上回り、従来型コンタクトレンズとレンズケア製品での売り上げ減の見込みを補ったことによるものです。

「フォーカスデイリーズ」と「フォーカス・ナイト&デイ」は引き続きダイナミックな業績を達成し、1日使い捨てコンタクトレンズと連続装用コンタクトレンズのそれぞれの領域をリードしました。コスメティックレンズ「フレッシュルック」は、需要の拡大と数カ国での「FreshLook Radiance」の上市に支えられ、カテゴリーにおいて引き続き強力なリーダーとしてのポジションを確保しました。12月には、米国FDAの承認も取得しました。世界初で、唯一の乱視矯正用1日使い捨てコンタクトレンズの「フォーカス・デイリーズ トーリック」がヨーロッパの数カ国で上市され、米国でも発売の準備が進められています。

レンズケアフランチャイズは、主に米国などのマーケットの縮小に対して健闘しています。売り上げは減少しましたが、他の地域での売り上げと日本での「FreshLook Care」の上市に支えられました。

眼科用サージカルビジネスは、白内障の手術時間を短縮できる粘弾性物質と麻酔の混合された「VisThesia」や、老視用の有水晶体屈折矯正レンズ「Vivarte PRESBYOPIC」、さらに有水晶体屈折矯正レンズ（PRL）の挿入をより簡単にするインジェクターなどの革新的な製品によって、業績が向上しました。また8月には、緑内障の外科的治療のための革新的で、外科的侵襲を最小限にとどめる「EXPRESS（ミニ緑内障シャント）」の米国およびカナダでの独占的販売権を取得しました。

アニュアル・レポート

人材、コーポレート・ガバナンス、健康・安全・環境レポートなどを含む、2002年度のノバルティスのビジネスおよび業績の詳細につきましては、ノバルティスのホームページ <http://www.novartis.com> に1月23日に公開されたグループのアニュアル・レポートをご参照ください。

上記の発表には、現時点での将来への予想と期待が一部含まれております。従って、その内容に関しては、また将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる可能性があることをご確認ください。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けております Form 20-F をご参照ください。

2003年の業績発表予定

4月15日	第1四半期業績発表
7月21日	上半期および第2四半期業績発表
10月20日	9ヵ月および第3四半期業績発表

2002年度年間売り上げトップ20製品

製品名	適応	百万	前年比%		
		スイスフラン	億円	スイスフラン ¹ - ス	現地通貨 ¹ - ス
ディオバン/コディオバン	高血圧症	2 580	2 193	37	49
ネオーラル/サンディミュン	移植	1 607	1 366	-12	-5
ラミシール(グループ)	真菌症	1 355	1 152	-4	4
ロトレル	高血圧症	1 011	859	24	35
グリベック	慢性骨髄性白血病	953	810	271	303
サンドスタチン(グループ)	末端肥大症	943	802	16	23
ボルタレン(グループ)	炎症/疼痛	925	786	-13	-3
レスコール/ローコール	高コレステロール血症	896	762	10	18
ゾメタ	悪性腫瘍による骨合併症	758	644	N/A	N/A
チバセン/ロテンシン	高血圧症	714	607	1	9
トップ10製品トータル		11 742	9 981	22	32
ミアカルシック	骨粗しょう症	612	520	-13	-7
テグレトール	てんかん	565	480	-17	-8
レボネックス /クロザリル	治療抵抗性の統合失調症	501	426	-7	0
エクセロン	アルツハイマー病	472	401	17	26
ビスダイン	加齢黄斑変性	443	377	18	27
ホルモン置換療法シリーズ	ホルモン置換	437	371	-10	-3
トリレプタール	てんかん	433	368	73	91
アレディア	悪性腫瘍による骨合併症	428	364	-66	-64
フォラジール	ぜん息	407	346	4	10
ファンビル	抗ウイルス剤	343	292	6	14
トップ20製品トータル		16 383	13 926	9	17
その他の製品		4 619	3 926	-9	-1
全製品トータル		21 002	17 852	4	13

2001年度の業績は、一部製品の他セクターへの移管の売り上げに基づいて集計し直した。

N/A：前年度の売り上げがない、あるいは比較できないものを示す。

本リリースで用いられている日本円表示の金額は、すべて便宜的に1スイスフラン=85円の為替レートでスイスフランを日本円に換算したものである。これらの換算金額は、このレートまたはその他のレートでスイスフランの額を実際に日本円に換えられる額を示すものと解してはならない。